

# 「若どり」

第6号

◎ からだをつくる ◎ 心をみがく ◎ わざを練る

## 「学び」の方法

校長 竹之内 勝

### 前期終業式・後期始業式における 校長講話から

10月4日（金）

平成30年度の前期の終業を迎えるにあたり、笑顔の皆さんと前期を充実して終えることができ、とてもうれしく思っています。

前期の様々な取組の中で、皆さん一人ひとりに大きな成果があったと確信しています。保護者や地域の方々からも「明るく元気に学ぶ生徒たちの姿が見られた。」「生徒たちにまとまりがあり、素晴らしかった。」など、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。小さな学校の大きな成果があふれている八中という環境の中で、気付いていない人もいることと思いますが、確実に、大きな成果が力となって、一人ひとりに身に付いています。

先日、京都大学 特別教授の本庶 祐（ほんじょ たすく）さんが、ノーベル医学生理学賞を受賞しました。革新的ながん治療薬「オプジーボ」の誕生を主導したことが、受賞理由です。本庶さんは、受賞インタビューで、「基礎研究」の大切さを何度も語っていました。また、「基礎」を「型」と関連付け、「型を学ばなければ、型は破れない」、「型を学んで、型を疑え」を信念にしていると語っていました。

まさに今、中学生である皆さんは、「型」である基礎を学んでいる真最中です。皆さん、基礎を学び、基礎を破ってください。基礎を学んで、基礎を疑ってください。

10月9日（月）

後期が始まるに当たって、「学びの定着」についてお話しします。今日お話しする「学び」は、学習面だけでなく、運動面、道徳など、あらゆるものが含まれた「学び」のことです。

次の図を見てください。これは、アメリカの国立訓練研究所がまとめた「学びの定着」につ

いて報告したものです。「ラーニングピラミッド（学びのピラミッド）」といいます。

### アメリカ国立訓練研究所 (National Training Laboratories) の研究から



図の右側に、平均定着率が書かれています。下の方に目を移せば写すほど、定着率が上がっていくのが分かります。もう気付きましたね。そうです。

「人に教える」という学び方が、「学びの定着」に一番いいことが分かります。

さあ、皆さん。これまでの教わっていた「学び」を、教える「学び」に換えましょう。そして、「学び」を更に定着させましょう。そのためには、予習が大切です。学習面で言えば、教科書を事前に読むだけでも構いません。予習してきたことを、教え合いましょう。運動面、道徳などでも、教え合って「学び」を定着させましょう。基礎・基本が定着すれば、それが一生の財産となります。教え合いを通して、答えのないものに対して自分で考え、考えたことを仲間と意見し合い、更によい考えへと深めることで、様々なアイデアが浮かび、様々な課題を乗り越えることができるようになります。

「FOR 2050（2050年に向けて）」、「人に教える」をキーワードとして、人間にしかできない力「人間力」を高めていきましょう。

## 新生徒会が発足しました

さらなる進化をめざして！

9月21日（金）、平成30年度の生徒会役員選挙が行われ、めでたく新生徒会本部役員会が発足しました。今回、5人定数のところ10人の候補者があり昨年以上に盛り上がりました。みな、八中をより良くしよう、という熱い思いを演説で語ってくれました。当選はならなくともこんなにも多くリーダーとなれる生徒がいてくれたことに改めて感動し、頼もしく思いました。



登校時の校門付近に立っての選挙運動の様子

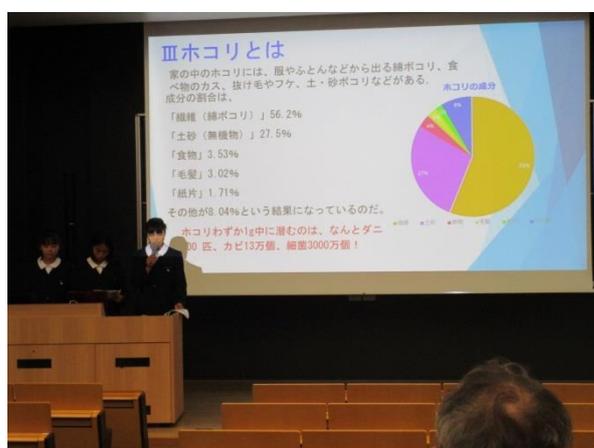
## 中学生理科研究発表会出場

10月6日（土）午後、今年度も明治大学中野キャンパスを会場にした中野区中学校理科研究発表会に八中代表生徒が参加しました。

今回は2年荒女子3名チームによる発表でした。

研究テーマは「ホコリについて」というもので、校内の各箇所にたまった埃を採取し、その成分を分析して洗浄の効果的な方法について言及していました。3人はチームワークよく滑らかに堂々とした態度でプレゼンテーションをしていました。

中野区立中学校教育研究会長賞を受賞しました。



明治大学の講義室内での発表の様子



表彰状をもつての記念撮影

## 八中文化発表会



10月17日（水）、八中文化発表会をルネこだいらを会場にして開催しました。今年度の生徒実行委員会がかかげたスローガンは、「響鳴 奏でよう僕らの想い～The greatest chorus in Heisei era～」でした。

「平成の最後となる素晴らしい歌声を届けよう」という強い思いが、会場の全校生徒にみなぎっていました。

今年度も午前中は各学級から選ばれた代表者6名による意見発表の部、午後は音楽発表の部として合唱コン



意見発表の様子

クールと吹奏楽部の演奏が続きました。

今回の意見発表のテーマは、いじめ問題、高齢者虐待、SNSや震災復興に関わる人権侵害や差別の問題、さらに「ジェンダー・ステレオタイプ」や死刑制度の背景にある人権課題を扱ったものなど多様な切り口から人権意識に向けた啓発をしてくださいました。代表者はみな原稿に目を落とすことなく、自分なりに考えた自分の言葉で優れた意見発表をしてくださいました。

平成最後の合唱！

澄んだハーモニーが  
会場に響き渡りました

午後の音楽発表は各学年各学級が最高の演奏をしようと昼食直後の練習時間にも寸暇を惜しむようにホールのあるこちらで練習が始まりました。本番では全ての学級が緊張した面持ちで壇上に登りましたが、練習を何時間も積んだだけあって、やがては自信に満ちた堂々とした態度で演奏できていました。

音楽発表の部（合唱コンクール）  
講評から

音楽科担当  
主任教諭 長島 久美

「表現」という言葉は、「表す」と「現れる」の二つの漢字で構成されています。

「表す」とは、より良いもの、美しいものを創りたい、届けたいという思いをもって発信すること。まさに合唱することがこれに当たります。そして、それを受け取った方の心に様々な思いが「現れる」のです。どちらが欠けても「表現」にはなりません。

今日のみなさんの合唱を聴いた時、「喜び」や「驚き」、「感動」が私の心に現れました。表すことによって現れるものがある、人の心を揺り動かし、思いを生み出すことができる、それが表現するということなのだ改めて実感することができました。



上：クラス合唱の様子 左：吹奏楽部演奏の様子

合唱はやはり学年が上がるにつれて曲の難易度も高まり、よりレベルの高い演奏技術が要求されるものでした。しかし、生徒実行委員や指揮者などのリードで歌詞の意味を考えたり曲想を膨らませるなど学級ごとに創意工夫をして自分たちにしか歌えない



合唱を仕上げてきました。2学級しかない中で審査を受けて優秀クラスがどちらかに選ばれることになりましたが、どの学級にもやるべきことはやり切ったという満足感が感じられました。今回も地域の皆様、保護者ご家族の皆様等、多くの方々にご来場いただきました。心より感謝申し上げます。

## 中野区中学校総合陸上大会

今年も小さな学校の大きな成果！

9月27日（木）、中野区中学校連合陸上競技大会が都立駒沢オリンピック公園陸上競技場で開催されました。雨天で条件の悪い中でしたが、八中生は気合も十分に全力で大会に臨み、今年度も優れた記録を残してくれました。

以下8位までの入賞者です。

### 《 男子 》

1年男子1500m	6位	5'13"00
2年男子1500m	5位	4'56"35
1・2年男子走幅跳	4位	5m01cm
共通男子400m	6位	1'01"88
共通男子走高跳	8位	1m40cm
2年男子110mH	5位	20"43
2年男子100m	8位	13"17
3年男子110mH	8位	20"61
2年男子4×100mリレー	8位	58"25

### 《 女子 》

2年女子100mH	7位	19"69
2年女子100m	5位	14"73
1・2年女子走幅跳	3位	4m04cm
3年女子100m	1位	14"35
共通女子砲丸投げ	7位	7m36cm



競技場の様子から

## 11月予定

- 11月 3日（土）中野区中学校英語学会  
13:00-（野方WIZホール）
- 11月 4日（日）軽可搬ポンプ操法大会  
9:00-12:00  
（南台いちょう公園）
- 11月 6日（月）中野区中学校連合音楽会  
（中野ZEROホール）
- 11月10日（土）土曜学校公開日  
引き取り訓練

- 11月 9日（金）教育委員会訪問  
（3・4校時授業参観・給食時交流）  
（5校時 2学年による八中紹介）
- 11月14日（水）後期中間考査1日目  
（①英語/②数学/③1・2年社会・3年保体）
- 11月15日（木）後期中間考査2日目  
（①国語/②1・2年理科・3年技術/③3年美術）
- 11月16日（金）後期中間考査3日目  
（①3年数学/②3年社会/③3年音楽）
- 平和の語り部事業講話13:35-（体育館）
- 11月30日（金）2年校外学習  
（鎌倉市内班行動）